

源波古墳(上伊那郡箕輪町)

げんなみ

これが長岡古墳群の一つの源波古墳



上流にある箕輪ダムの記念公園事業の一環として長岡区のグランドをこの地に造成するために、発掘調査し、移転復元したという



羨道をもつ片袖式の横穴式石室



玄室内部





横から見る



墳頂から見る



左手に説明版がある



源波古墳

移転復元 昭和62年8月

今から千数百年ほど前、日本の各地で大きな墓をつくることが流行し、この大きな墓は「古墳」と呼ばれました。古墳時代の四〇〇年間は日本で統一国家が生み出されていく時代でもあったのです。長岡の台地上にも多数の古墳がつくられ、それらは長岡古墳群と呼ばれています。この源波古墳もその中の一つです。古墳は箕輪ダム記念公園事業の一環として長岡区のグラウンドをこの地に造成するために発掘調査し、移転復元しました。発掘調査によって、直刀、馬具、玉類等多数の副葬品が出土しています。これらの出土品を見ると、当時かなりの勢力をもった豪族がこの地に居住していたことが考えられます。又、数々の素晴らしい副葬品は中央（奈良の都）との交流が密であったことを裏付けしています。

古墳の概要

- ・古墳の位置 箕輪町長岡字源波
- ・築造年代 6世紀後半〜7世紀初頭
- ・主なる副葬品 直刀9振、金環16個

規模

- ・直径20mの円墳
- ・墳丘の高さは推定約4m
- ・羨道の長さ4m・幅0.95m
- ・玄室の長さ7.9m最大幅1.65m
- ・墳の形式は片袖式



東山麓歴史コース・箕輪町長岡区

付近には他にいくつもの古墳が存在する



古墳の斜面(法面)を見る





そばに変わった建物がある



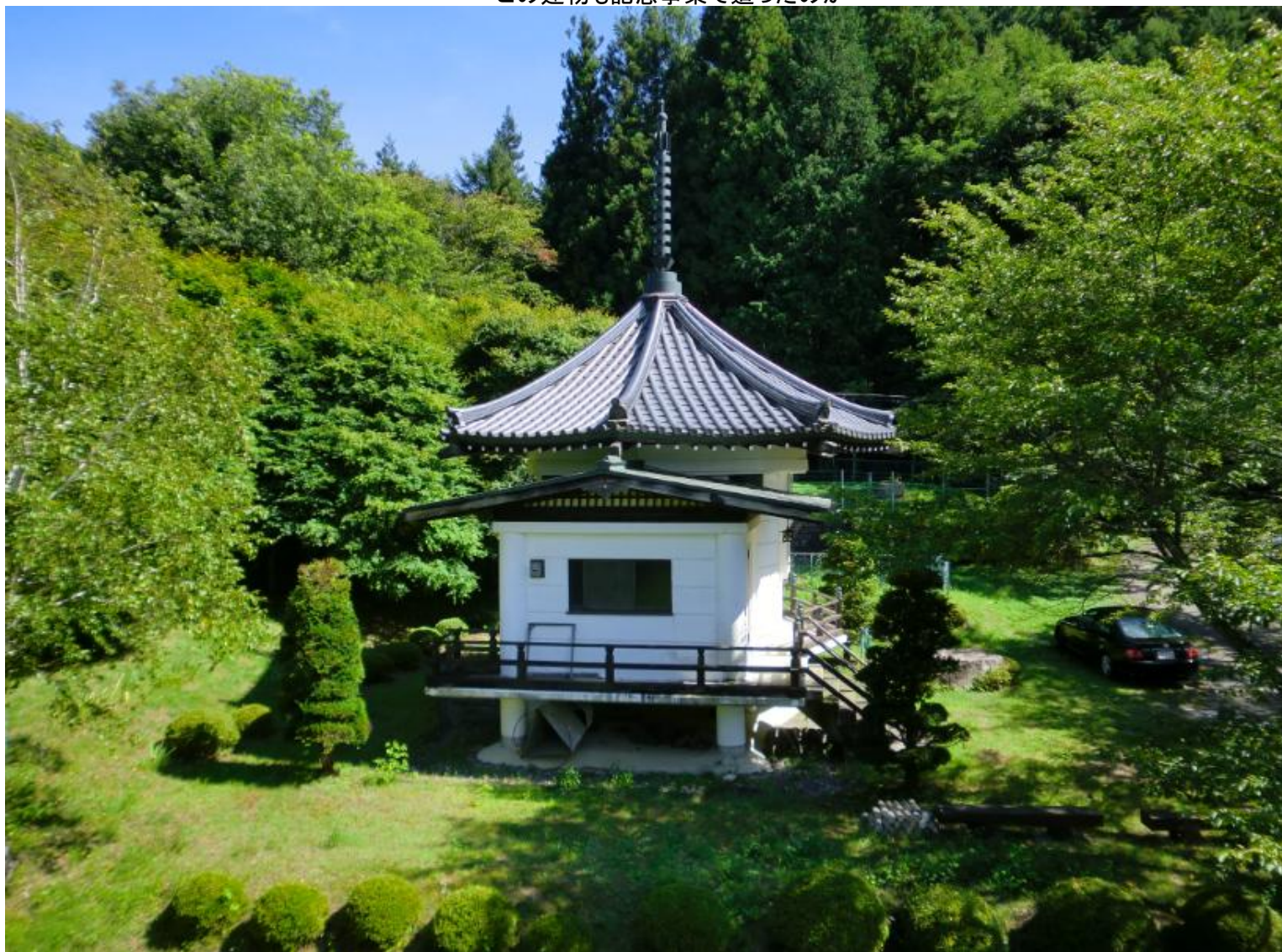
6世紀後半～7世紀初頭築造の円墳



墳頂から見下す



この建物も記念事業で造ったのか



長岡区古文書館とある



「陵園」と記された石碑



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.cocacn.jp/nagano/minowa/gennai.html>



インターネットより